

令和6年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金
(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)
分担研究報告書

HPV ワクチンなどのワクチン接種後に生じる種々の症状についての調査と
その対応方法に関する研究

研究分担者 天谷 文昌

研究要旨

HPV ワクチン接種後の症状について、拠点病院を受診した患者の臨床データを収集できるシステムを構築するため、調査の実施が可能であるか予備調査を実施した。現時点では調査項目に問題を認めないが、さらに患者を集積して検討する必要がある。

A. 研究目的

HPV ワクチン接種後の症状について、①ISRRを中心として拠点病院を受診した患者の臨床データを収集できるシステム作り、②HPV ワクチン以外のワクチンでも同様の症状が起きているかどうかの予備的検討③過去に良くなった症例の調査、またそれらのデータに基づいて、現在用いられている④「HPV ワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアル」のブラッシュアップを具体的な研究目的とする。

B. 研究方法

①について、「HPV ワクチンの安全性に関する研究」(研究代表者:岡部信彦)で行っている、アンケート等を用いたサーベイランス調査と連携し、協力医療機関で診療された患者情報が拠点病院で把握できるようにするため、必要な患者情報を吟味する。調査項目について予備的調査を実施し、実現可能性を検討している。

(倫理面への配慮)

本研究については、愛知医科大学倫理委員会および研究班所属施設の倫理委員会を通して行っている。

C. 研究結果

HPV ワクチン接種後に何らかの症状を呈して当拠点病院を新規に受診した患者は11名、年

間のべ受診患者数は19名であった。

患者情報として検討中の調査項目とその妥当性の検討を行った。研究期間中に本学附属病院を受診した現時点で各項目の調査に問題はないものと思われる。

D. 考察

予備調査の結果、検討にあたり支障をみとめない。さらに症例数を増加させて検討する必要がある。

E. 結論

患者情報の把握にむけた予備調査を行った。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 天谷文昌. 集学的痛み治療とは. 京都府立医科大学雑誌 133 巻 6 号 319-323 (2024)

2. 学会発表

- 1) 天谷文昌. なぜ疼痛は慢性化するのか. スポンサーシップシンポジウム. 第46回日本疼痛学会. 2024. 11, 東京.